

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
山里昌輝	航空路線の機種変更に対する対応について	久米島-那覇間の航空路線で機種変更が決定的になっているようですが、その後の対応について伺いたい。	町長	日本トランスオーシャン航空(JTA)の経営構造改革の一環として行われている久米島航空路線のジェット便廃止による機種変更については、JTAを始め県や県議会にも要請を行ってきましたが、JTAの方針どおり3月25日から運行されることが決定されています。JTA側からその報告を受けて、1月25日に地元関係者と対応策を検討しました。その結果、(1)他社導入の可能性がないか他社航空会社に打診していくようにする。(2)RACの現機種更新時には大型機種を導入していくように要請していくことを確認しました。このことを踏まえ、今後は関係者からの情報収集を行いながら対応していきたいと考えています。
山里昌輝	障害者の福祉対策について	障害者、とりわけ三障害者を取り巻く環境整備について、どのような計画を進めているか、その内容を伺いたい。	町長	字嘉手苅にあります久米島町地域活動支援センター「さくら」の施設が老朽化していることと、三障害に対応するためのバリアフリー化をしなければならないこと、又、作業スペースが狭いことから新たな施設が必要となっている。そこで仲里改善センターが老朽化していること、改善センター機能を具志川改善センターに一元化していることから、仲里改善センターを取り壊して、その敷地に地域活動支援センター機能と久米島町社会福祉協議会の事務所及び相談室多目的ホールを備えた「久米島町福祉センター」として整備することを計画しています。
仲村昌慧	葬祭場建設について	久米島町第一次総合計画の中で、「葬祭場建設については平成23年度を目標に検討する」としているが、建設計画はあるか伺いたい。	町長	平成21年度に行った久米島町墓地整備計画のアンケートにも、斎場の要望があります。現在該当する補助事業がございませんので、起債や一括交付金で建設できないか検討しております。
仲村昌慧	硫黄島島の利活用について	硫黄島島の登記手続き完了したことで、「次年度以降、利活用について検討する」「同島との往来がしやすいように港の整備なども検討している」とのことだが、利活用についてはどのような組織で検討していくのか。また、港の整備について町の考えを伺いたい。	町長	硫黄島島の利活用を検討する組織については、字鳥島を含めて検討する必要があると考えています。港の整備については、排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律第3条第3号に定める特定離島に指定した上で、同法第8条の規定に基づき、国(国土交通省)において、港湾施設を建設するよう調整を進めてまいります。
仲村昌慧	県道街路灯の修理及び道路沿いの除草について	県道の街路灯が数箇所において、長い間点灯していない状態が続いている。また字仲地から字具志川間の歩道がない区間で雑草が繁茂している。このような状況は歩行者にとって非常に危険であり、早急に対応すべきであるが、県の対応を伺いたい。	町長	県に確認したところ、街路灯については3月中に補修をするという返事を頂いております。次に字仲地～字具志川間の雑草対策については、平成23年度に於いて歩道設置工事の発注準備を進めていましたが、一部潰れ地が発生したため地権者と用地買収の交渉をしていますが、地権者との折り合いがつかず現在工事の未発注状態であり、引き続き交渉を重ね早期に工事着手できるように最大限努力をしていきたいとの事であり、今後、地権者の交渉が長引くようであれば雑草除去などの維持管理を行い歩行者の安全を確保していくとの事です。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
宇江原総清	鳥島射爆撃場の早期返還について	<p>私は、久米島町の観光産業やこれから進めようとしている海洋深層水利用による温度差発電を含む多角的活用の阻害要因は鳥島射爆撃場だと考えている。昨年3月11日の東日本大震災時の福島第一原発事故以来、島への来客数が激減している。昨年中の船と飛行機利用者は一昨年に比べ、船の利用者が1万3735人減少。飛行機は1万1876人の減少となっている。特に観光客が減っているという。沖縄本島や宮古、八重山の観光客が回復に向かってはいるのに、町長に伺う。</p> <p>(1)鳥島射爆撃場は海洋深層水の多角的利用や観光産業の障害になると思うか。</p> <p>(2)嘉手納弾薬庫に貯蔵されていると言われる40万発の劣化ウラン弾が米軍によって再度打ち込まれると思うがどうか。</p> <p>(3)米軍は劣化ウラン弾は放射能ではないとか内部被曝を認めていないが、これについてどう思うか。</p>	町長	<p>(1)鳥島射爆撃場が海洋深層水の多角的利用の阻害要因になっていることは、ないものと考えています。観光産業については、同射爆撃場が返還された場合、釣りやダイビングなどの活用が期待されますので障害はあると考えていません。</p> <p>(2)米軍による日本国内での劣化ウランの使用については、禁止されていますので、基本的にはないものと考えています。</p> <p>(3)米政府は湾岸戦争での劣化ウラン弾による健康被害を否定しています。劣化ウラン弾を使用する当事者からは、化学兵器の残留物質説、油田破壊による化学物質説、対化学戦用のワクチンの副作用説などもあり、劣化ウラン弾による健康被害説を含めて、いずれの説も健康被害との因果関係の証明が十分ではないという指摘があります。しかしながら、一定の条件の下での健康被害は、あるものと考えています。</p>
宇江原総清	コンクリート護岸の撤去と、これに伴う潮害防備保安林等の植栽について(河川を含む)	<p>本年2月21日の久米島町景観計画原案に関する住民意見交換会が、宇根公民館で開催された。私は同計画に賛同する者であり、具体的に早めに推進されたい。計画の中で、置石の階段式コンクリート護岸を撤去し、以前ウミガメが多く生息していた環境に戻すことができないか。又、奥武橋の両サイドの埋立部分を下駄履方式にするよう県に強く要望する考えはないか。</p>	町長	<p>久米島町景観計画原案において「自然海岸の保全に努めると」としていますが、今後新に施設として計画していくものが対象となりますので関係部局と調整を図っていきます。</p>
宇江原総清	業者から借り入れたユニック車の事故補償と公正公平な入札措置について	<p>平成23年8月18日、本町職員が起こした事故の被害車両は平成4年式の4トンユニック車で、保険会社査定で60万円。私は今年3月1日と3日にユニック車を販売するB社に見分を行った。町が補償予約中のユニック車は平成10年式で十分に改装された車で、消費税と船輸送代込みで345万9750円である。事故のユニック車を下取金30万円を頭金として交渉中という。町側はユニック車の補償金として288万3000円の税金を使おうとしている。これまで町はユニック車所有の町内A社から慣例として借り入れしている。又、町民からは町所管事業等の入札随意契約が公正、公平ではないとの苦情がある。町長及び所管課長は本件及び町民の苦情に対し、どう対応するのか伺う。</p>	町長	<p>(1)4tユニック車は町が保証予約及び頭金としての交渉中ではございません。議案提出のとおり賠償金、2,339,050円で示談書をかわしました。</p> <p>(2)各事業の入札の執行については、地方自治法や久米島町契約規則等に基づき、適正に執行されているものと考えています。しかし、このことについて、町民からの苦情があるならば、入札についての情報開示や説明が十分に行われていない可能性もありますので、精査をしたいと考えています。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
棚原哲也	鳥島射爆撃場及び久米島射爆撃場の借地契約について	<p>町長は平成18年3月、町議会定例会での鳥島、久米島の両射爆撃場の返還要請決議以降、町議会での質問や、マスコミ等の取材に対し一貫して契約更新を拒否する姿勢を示してきた。しかし昨年3月29日、総合的に判断して苦渋の選択をしたとし、議会への説明もないまま借地契約の予約に合意している。同年6月の議会定例会での同僚議員の質問に対し、「下地代議士には相談した覚えはある」と答弁し、総務課長の答弁では1月から3月末までの交渉期間があったが議員全員に対する相談の機会を失したと陳謝している。一方で合意づくりの仕組みが全くの議会無視ではなく、議長、副議長が入って意見交換する場はあったと答弁し手続き面で不備があったとしている。そこで4点伺いたい。</p> <p>(1)鳥島射爆撃場については戦後60年余の実弾射爆で消失の危機にあり、借地契約の期間が民法上の規定で国が上限の20年としており、今回の契約時までには町有地である島の消失が危惧されるため、町民へ契約に至った経緯の説明が必要だと思うがどうか。</p> <p>(2)予約に応じる決断をする前に漁協及び水産団体に相談したか。</p> <p>(3)早期返還に向けて協力要請をした県知事、県議会及び南部町村議会議長会へは予約に応じつつ早期返還を求めていく旨の説明をしたか。</p> <p>(4)契約条件が納得できなければ単年度毎の借地契約を拒否する考えはあるか。</p>	町長	<p>(1)町民への説明については、町議会での審議やその他町民との意見交換の場を利用して説明に努めてまいります。</p> <p>(2)久米島漁協の組合長とは、鳥島射爆撃場についての意見交換をしています。</p> <p>(3)県知事が会長を務める沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会事務局へ早期返還を求める方針に変更はないことを説明し、その後の国に対する返還要請行動にも参加をしています。</p> <p>(4)予約の同意にあたっては、条件を付していますのでその条件が守られない場合は、単年度契約の拒否もあり得るものと考えています。</p>
棚原哲也	県道謝名堂、泊線の整備について	<p>謝名堂、泊間の道路は、学生の通学路として、また地域の生活路として事故が起きない前に早めに整備が必要だと思うが、町として県へ要請しているか伺いたい。</p>	町長	<p>質問にあります区間の整備については、以前から度々県へ要請を行っていません。県の回答としては現在久米島の県道整備計画の中で対応したいとの事です。</p>
棚原哲也	海岸に放置されているコンクリート片の撤去について	<p>イーフ旧BG財団施設の東方、謝名堂川下流域の湾奥部に放置されているコンクリート片の山は、泊漁港や謝名堂川下流域の水門付近からも目視され、またイーフビーチからの観光客や町民の散歩路でもある。環境保全の面からも早期の撤去が必要だと思うが町の考え方を伺いたい。</p>	町長	<p>約30年ほど以前、台風時に宇泊集落(通称ハーマ)に、波が超波してくるので、地元より、その対策の要望があり、当時仲里小学校の校舎改築のコンクリート殻を、消波ブロック代わりに設置しようと話し合いが行われて設置された経緯があります。撤去に関しては、予算の面も含めて検討していきます。</p>
棚原哲也	無縁仏の収骨奉納について	<p>イーフ地区の保安林の中で確認されているだけでも5体の埋葬痕があるが、町として収骨奉納すべきだと思うが町の方針を伺いたい。</p>	町長	<p>無縁仏の収集奉納につきましては、字イーフからの要望もありましたので、現在納骨堂の入札の準備をしております。完成後収集奉納していきます。</p>
玉城安雄	公共工事の入札に関する最低制限価格について	<p>国の施策により公共事業が縮減され全国的にきびしい状況が続く建設業界ですが、本町も例外ではありません。10年前までは50社近くあった事業所も現在では20社近くまで減っています。工事量の減少のため工事入札も低入札が続いている状況です。以前は、県、町も最低制限価格を予定価格の80%として決め、入札が行われていたと思うが、建設資材の高騰などで90%前後に引き上げ入札を行っているようです。本町では85%前後の最低制限価格を設定し、入札が執行されているが、低入札を防止すると共に、業者の健全な発達、品質の向上、低入札価格による下請等へのしわ寄せ、労働条件の悪化を防ぐ意味でも県並みの90%前後に最低落札価格を設定する考えはないか伺いたい。</p>	町長	<p>本町の最低制限価格については、久米島町契約規則第24条の規定により予定価格の100分の70から100分の90までの範囲内と定められており、個々の事業の最低制限価格の設定においては、国土交通省通知に基づき、直接工事費の95%、共通仮設費の90%、現場管理費の70%、一般管理費の30%と調整額を組み合わせて設定しています。ご質問の件については、国の制度、県や他の市町村の制度等を早急に調査し、検討したいと考えています。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
玉城安雄	沖縄県議会議員選挙区について	<p>沖縄県議会議員選挙区ですが、現在久米島町では、県議選において与那原町、南風原町、八重瀬町および南部周辺離島を中心とした島尻郡区に属しているが将来的には久米島を中心とした周辺離島は、那覇選挙区に選挙区変更の要請が可能か伺いたい。理由として第1番目に宮古、八重山は選挙区があり、県議員が在籍しているが、島尻地区では候補者を擁立しても選挙人人口の面で厳しい状況である。第2番目に国選是那覇市、南部周辺離島を中心とした沖縄第1区に属している。第3番目に教育行政、沖縄本島へのアクセス(交通手段等)など、那覇市と密接な関係に位置し、各離島郷友会等を中心とした様々な活動が期待できる。このようなことから10～20年後を見据えて南部周辺離島の振興発展のために各離島首長と連携し、那覇市区に選挙区変更の提案はできないか伺います。</p>	町長	<p>県議会議員の選挙区については、公職選挙法第15条第1項の規定により、郡市の区域によることが定められています。例外措置として、同条第4項及び第5項の規定により飛び地の場合、地勢及び交通上これに類似する状況にあると認められる場合、一つの郡市の区域が2以上の衆議院小選挙区に分かれている場合は、例外規定が認められています。これらの例外規定を適用するかどうかは、沖縄県の判断になります。ご提案の件については、周辺離島の首長や議長とも意見交換をしたいと考えています。</p>
翁長学	道路整備について	<p>比屋定町営住宅前の道路がコーラル敷となっている。地域住民がよく利用する道路なので、アスファルト舗装できないか。</p>	町長	<p>同路線の整備につきましては、平成23年度第4次補正「農業体質強化基盤整備促進事業」の新規事業としての採択に向けて作業に取り組んでいます。</p>
平良義徳	パソコン教室の開設について	<p>現在久米島空港内において、本土の企業が運営しているパソコン基礎演習科コースの職業訓練が実施されています。久米島では初めての職業訓練で120名が資格取得や技能向上、また就職に向けて勉強しています。訓練期間が平成23年9月から平成24年3月までとなっているため、その後も継続してパソコン教室を開設して欲しいという地域住民及び当該訓練生から多数の要望があります。本町は年々人口減少にあり、雇用問題も深刻です。仕事をする上でパソコンは必要不可欠です。行政としても人材育成は推進しなければいけません。そのようなことからパソコン教室を開設する意義を強く感じる。</p> <p>(1)現在の訓練生が終了後中級へのレベルアップ (2)職業上パソコンを使う頻度が増えており、自己流の勉強では限度があるため、本格的な基礎知識が必要である。 (3)パソコン利用による情報の共有化、その他多々の目的があること。以上の様なことを踏まえ、パソコン教室を開設し人材育成に取り組む考えはないか、町長の見解を伺う。</p>	町長	<p>久米島空港で開催されているパソコン教室は、国の事業として民間会社が国から委託を受けて実施しているものであり、平成23年度は沖縄の離島(久米島、宮古、石垣)を含めて全国7府県で実施されています。このパソコン教室は、職業訓練として実施されており受講者には日当が支給され、終了後には、使用しているパソコンが貰えるという条件で実施されています。このような条件で島内で120名の方々が基礎的な訓練を受けているということでもありますので、訓練終了後は、それぞれの努力で技能向上を図り、就職活動に活かして貰いたいと思います。町としては、国、県事業による職業訓練的なパソコン教室の開催は出来ませんが、町民からのニーズが多ければ検討していきたいと考えています。</p>
喜久村等	久米島一周線の街路樹の一部撤去について	<p>歩道に植栽されている樹木で、場所によっては歩行者の妨げになり歩けない状態にある。特に、泊から宇根に向けての赤平通りは子どもたちの通学路でもあり、とても危険である。また、集落内においては路地から出る際に右手からの通行者や車が見えにくい場所がある。このような危険な場所の整備を県に要望する考えはないか。</p>	町長	<p>県としては、現場を確認し歩行者及び車両の通行に支障があれば対策を講じたいとの事です。</p>
喜久村等	LED防犯灯の設置について	<p>現在ある防犯灯は耐用年数が過ぎており、だいぶ劣化している。修理代等で費用がかさみ、各字の負担加重となっている。町としてLED防犯灯に変更する考えはないか。</p>	町長	<p>町としても、将来防犯灯を全てLED化する目標で進めており、一部については平成24年度の一括交付金事業を利用し整備を実施したいと思っています。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
幸地猛	電柱の地中化について	町長の考えについて (1)町として可能性調査をする考えはないか。 (2)台風時の停電対策にもなると思うが。 (3)環境にやさしい島づくりにもつながると思うが。 (4)新規公共工事にも繋がると思うが。	町長	私としてもライフラインの確保及び景観、環境保全の面から電線類の地中化については早期に進めるべきだと思っています。しかしながら、事業導入については電力事業所や個人に負担が係る可能性があるため、電力事業所や町民の理解を得る事が先決条件となります。今後、国や県又は民間などあらゆる方面から情報を得ると同時に地元での事業導入の可能性も調査しながら電線類の地中化推進事業の導入を進めて参ります。
幸地猛	公立図書館の建設について	町の方針について (1)具体的な計画はあるか。 (2)町民から要望はなかったか。	教育長	久米島町後期基本計画において整備方針は盛り込まれていますが、財政的側面から現状での具体的な整備計画はありません。町の人材育成を図る観点からも図書館は必要だとの町民・団体等からご指摘もありますので、現在の図書室を活用しながら、整備に向けて協議を図って参ります。
幸地猛	施政方針について	(1)行財政改革の推進の「公共施設の統廃合」は具体的にどこか。 (2)交通の確保で航空路、海上航路の運賃低減についての状況について。高速船導入検討委員会の発足について。 (3)観光産業の振興について、観光客の減少歯止め対策について (4)基盤整備について、町道及び農道整備計画の策定は。	町長	(1)具体的な公共施設の統廃合については、これから行政改革推進本部会議、行政改革推進委員会等で議論し、決定しますが、第1次行政改革においては、幼稚園、小学校、中学校、役場庁舎、福祉施設などの統廃合の検討が行われています。 (2)現在、会社から県に運賃改定の申請を出しているところであり、4月1日から実施することになっています。離島割引カード保持者を対象に航空運賃が往復9,800円、船運賃が往復3,600円になるということを確認しています。一部：高速船導入については、これまで事務レベルで船舶の情報収集を行ってきました。本年度から利用者、事業者等を含めた検討委員会を発足して具体的な船種の選定及び導入方法について議論する予定です。 (3)全国的な不況が続く中、東北大震災の影響で観光入域客が減少している状況にありますが、これ以上観光客が落ち込まないように観光協会を中心に関係者で観光誘客やイベント開催などで歯止めをかけている状況です。また、中長期的には観光協会の事務局体制の強化や観光受入体制の再構築を図り、関係団体と連携協力を図りながら取り組んでいきたいと考えています。 (4)町道及び農道の整備計画は策定されておりません。本町の道路の整備手法としましては、議会、区長会及び町民からの要望によって必要性、緊急性、可能性等を考慮し優先順位を決めて整備に取り組んでいるのが現状です。今後の整備方針として、長期、中期、短期の計画を立てて進める方法、または、現状通りの方法の何れが良いのか検討し、今後の町の整備方針としたいと思います。
安村達明	真謝部落道路(農道)整備について	(1)昨年、真謝区長より直接要請があった農道(クサトウバル)の整備について、現在の進捗状況と、今後の整備計画について伺いたい。 (2)農道(クサトウバル)と交差する道路(クシバル)の路面状態も最悪で、住民が苦慮しているが、舗装道路にして住民の安全を確保してはどうか、伺いたい。	町長	同路線については、平成24年度農林水産省事業「農業体質強化基盤整備促進事業」の新規事業としての採択に向けて取り組んでいます。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
島袋完英	行財政改革の達成度について	<p>就任以来の達成度を具体的に示して下さい。</p> <p>(1)財政収入等歳入の確保 (2)職員定数 (3)事務事業の見直し (4)公共施設の統廃合</p>	町長	<p>久米島町集中改革プラン(H17～H21)の実施状況からお答えします。</p> <p>(1)歳入の確保については、町税の徴収率をH16年度の77.9%をH21年度に86.0%にする計画に対して、実績は85.9%となっています。</p> <p>(2)職員定数についてはH17.4.1の職員数233名をH22.4.1に208名にする計画に対して、実績は206名であります。</p> <p>(3)事務事業の見直しについては、事務事業のコスト削減、その他整理合理化に取り組んでまいりました。</p> <p>(4)公共施設の統廃合については、中学校、幼稚園、役場庁舎、福祉施設の統合を検討しましたが、実現できたのは、中学校の一部と役場庁舎の一部のみでございます。廃止施設については、公衆トイレ、島尻青少年旅行村、福祉長屋などを廃止しています。</p>
島袋完英	農業の振興について	<p>基幹産業である農業従事者の高齢化と担い手不足は深刻な問題です。</p> <p>(1)担い手不足の解決方法は。 (2)栽培技術・経営技術の向上等、農協との連携は取れているか。 (3)「農」は土づくりから」と言われますが、堆肥センターの稼働状況は。</p>	町長	<p>(1)農業生産法人や優良農家で実践的な研修ができる研修制度を創設し、計画的に担い手農家を育成していきたいと考えています。</p> <p>(2)農協も含めた作目ごとの産地協議会を主体に栽培技術講習会や農業簿記の記帳講習会等を開催し栽培技術及び経営技術の改善向上を図っています。</p> <p>(3)H22年度の堆肥製造実績は1,150トンで生産目標の約70%の稼働率となっています。</p>
島袋完英	漁業の振興について	<p>漁業も島の基幹産業であり、後継者育成や漁場確保には更に施策を講じなければいけません。漁港整備は進んでおりますが、関連設備の整備が遅れていると思います。</p> <p>(1)鳥島、大田地区には製氷設備(製氷機、貯蔵庫)が無く、不便している。設置する予定はあるか。 (2)儀間から鳥島前のイノーは大変すばらしい漁場だと思います。更に良い漁場の開拓するために水質検査、サンゴの移植をする考えはないか。</p>	町長	<p>(1)水産関係の施設整備については、今後、久米島漁協と全体的な施設の整備計画を確認しながら整備を進めていきたいと考えています。</p> <p>(2)海岸線の漁場は儀間、鳥島地域だけの問題ではありませんので、全体的に陸地から海へ赤土等の土砂流出しないように赤土流出防止対策を講じていきたいと考えています。水質検査やサンゴの移植については、今後検討していきたいと思います。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
島袋完英	観光産業の振興について	<p>久米島観光の不振は東日本大震災に始まったものではありません。十数年来、横ばい状態か下降ぎみに思われます。町長は何が原因だと考えていますか。</p> <p>(1)関東・関西方面に、観光営業マンを配置する考えはないか。</p> <p>(2)これまでの誘致活動を具体的に示して下さい。</p> <p>(3)景観条例の取り組みが行われていますが(遅すぎる)、これが実施されると、どんな事業を行うか、また指定地区はどんな町を作っていきますか。あまりにもブロック塀が多すぎます。「ブロックから垣根へ」等の構想はあるのか。</p> <p>(4)兼城港の整備でバースの整備の予定はいつか。新ターミナルの建設予定は何年か。</p> <p>(5)航空運賃について、離島カードでの割引は島民に限定であり、これまでは誘客の手段にはなりません。島民以外に拡大する施策はないのか。まずは郷友会員、久米島ファンクラブ会員までは。</p>	町長	<p>久米島の観光入域客については、いろいろな要因が重なって横ばい状態になっていると思います。一つには高速船の廃止やジェット便の減便による団体客の減少が考えられます。二つには対外的に久米島観光のピーアール不足もあるものと考えています。</p> <p>(1)関東、関西に専属的に観光営業マンを置いて誘致するという事は特に考えていません。現在は、関東、関西地域の久米島ファンの方々から久米島観光大使として7名を認証しボランティアで活動をさせています。</p> <p>(2)観光誘客活動については、観光協会を中心に関東、関西や東北の大都市を中心に大手旅行会社を訪問し営業活動を行っています。また、大手旅行会社の旅行商品企画担当者を久米島に招いて久米島の観光地や歴史、文化などの紹介や地元関係者との意見交換会を行っています。県内においては閑散期に旅行商品を企画し県内の大手旅行会社を中心に観光誘客を行っています。</p> <p>(3)事業につきましては、美崎地区、仲地区、イーブ地区及び新興通り地区の4地区を重点地区に指定し、その地区ごとの地域特性を活かしたまちづくりに優先的に取り組んでいきます。ブロック塀も景観を阻害する要因にもなっていますので、生垣等への改修と普及について景観計画の中で明記したいと思います。</p> <p>(4)兼城港の旧バースの整備の計画工程ですが、平成24年3月末に環境調査完了、同年5月末に詳細設計を完了、同年5月末に埋め立て申請書作成完了、同年8月に埋め立て申請書手続き完了、同年9月中に工事着手し平成26年3月末に工事完了の予定で進めています。新ターミナルの建設予定については、現在町にとって有利な事業を模索している最中であり建設予定年は未定です。</p> <p>(5)旅行運賃割引制度については、離島住民を対象に実施されています。島外からの入域者を対象としているのは、島に高校と公立病院がない地域が対象になっています。航空運賃割引補助については、県事業として実施されていますので、県に対して島外入域者も運賃割引制度が適用されるよう今後とも要望していきたいと考えています。</p>